



2025年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年11月12日
東

上場会社名 株式会社LIFULL

上場取引所

コード番号 2120

URL <https://lifull.com/>

代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 伊東 祐司

問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営統括本部長

(氏名) 福澤 秀一

(TEL) 03(6774) 1603

定時株主総会開催予定日 2025年12月23日

配当支払開始予定日

2025年12月24日

有価証券報告書提出予定日 2025年12月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績(2024年10月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	28,127	6.9	3,815	26.1	3,805	49.3	5,310	—	5,317	—	2,031	—
2024年9月期	26,312	—	3,027	—	2,549	—	△8,462	—	△8,463	—	△7,709	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	41.51	41.49	21.2	9.3	13.6
2024年9月期	△66.12	△66.12	△29.9	5.5	11.5

(参考) 持分法による投資損益 2025年9月期 67百万円 2024年9月期 △193百万円

2025年9月期第2四半期より海外事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、連結損益計算書上、継続事業と区分して表示しております。したがって2025年9月期の売上収益、営業利益、税引前利益は継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2024年9月期についても同様に組み替えて表示しているため、対前期増減率は表示しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	40,915	26,223	26,022	63.6	203.08
2024年9月期	41,191	24,202	24,105	58.5	188.33

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	4,808	△11,852	3,890	10,702
2024年9月期	1,671	△718	△2,977	14,633

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.73	0.73	93	—	0.3
2025年9月期	—	0.00	—	10.41	10.41	1,333	25.1	5.2
2026年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 1株当たりの配当金は、配当性向30%を基準に、非経常的な特殊要因による影響を考慮して計算し、小数点第3位を四捨五入しております。

2. 1株当たりの配当金は、期末時点の発行済株式数、配当性向は、期中平均株式数をもとに計算しております。

3. 2026年9月期期末の配当金は、配当性向30%を基準に、期末時点の発行済株式数をもとに計算し、配当する予定です。

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日~2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	29,700	5.6	3,000	△21.4	1,900	△64.3	14.10

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1社 (社名) LIFULL CONNECT, S.L.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期	134,380,704株	2024年9月期	134,239,870株
② 期末自己株式数	2025年9月期	6,245,406株	2024年9月期	6,245,229株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	128,080,610株	2024年9月期	127,994,686株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信 (添付資料) 5 ページ「今後の見通し」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会で投影した資料、動画、主なQ & A 等については開催後速やかに当社投資家情報サイトに掲載する予定です。

2025年11月25日 (火) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向けオンライン決算説明会

・決算説明資料、個人投資家向け説明会資料、事業戦略説明資料等は、当社投資家情報サイトをご覧ください。
株式会社LIFULL 投資家情報サイト <https://lifull.com/ir/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結持分変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「常に革進することで、より多くの人々が心からの「安心」と「喜び」を得られる社会の仕組みを創る」を経営理念として掲げ、あらゆるステークホルダーに配慮した健全な事業活動を通じ、当社グループの企業価値向上と、持続的な社会の発展に貢献することを目指しております。

当期における事業環境は、国内においては、企業収益が堅調に推移したことから、雇用・所得環境に改善の動きがみられること等を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、エネルギー価格の高騰や円安基調の継続等に起因する物価上昇感から、個人消費の回復はいまだ限定的なものとなっております。

当社の主要な事業領域である建設・不動産業界においては、資材費、人件費、エネルギー価格の高騰等により、新築着工件数の減少と新築物件の価格上昇が継続しており、2025年7月及び8月には、首都圏の新築マンションの平均販売価格が2カ月連続で1億円を超過しました（不動産経済研究所調べ）。政府の中古住宅・リフォーム市場の後押しを受け、中古住宅領域が活況となっておりますが、首都圏では中古物件の価格、賃貸物件の賃料も上昇傾向が継続していることから、住宅価格の高止まりが続く中で、新規の住み替え需要が抑制され、当期（2024年10月～2025年9月）の全国移動者数は前期比△0.2%となっております（総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」より）。また、海外においては、国際情勢の不安定感、世界的な金融引き締めの影響、為替変動等により、不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、収益力の向上をはかるため、国内の主要事業への集中を目的としたグループの構造改革を行ってまいりました。2024年11月に、収益性が悪化していた海外事業のリスストラクチャリングを決定し、2025年1月にLIFULL CONNECT, S.L.の全株式をCONNECT NEXT PTE. LTD.に現物出資したことに伴って、海外事業を非継続事業に分類しました。連結損益計算書上、非継続事業からの利益又は損失は継続事業と区分して表示しており、前期についても同様に組み替えて表示しております。

主力のHOME'S関連事業で、2021年より継続してきたサイト開発、前期からの営業強化等の施策効果によりトラフィックや問合せ数等の各種指標が好調に推移したことから、当期における連結業績は、売上収益28,127百万円（前期比+6.9%）となりました。

当期を最終年度とした中期経営計画の単体営業利益目標達成のため、戦略的投資を行いながらも、ブランディング等の広告宣伝費を最適化したことに加え、AI・生成AI活用等によって業務効率化が進み、営業利益3,815百万円（前期比+26.1%）、税引前当期利益3,805百万円（前期比+49.3%）となりました。なお、前期の一時要因である子会社の株式会社LIFULL SPACEの売却益を除いた場合、営業利益は+80.3%の増益となります。また、海外事業のリスストラクチャリングの会計処理の一時的な影響により、当期利益5,310百万円（前期は当期損失8,462百万円）、親会社の所有者に帰属する当期利益5,317百万円（前期は親会社の所有者に帰属する当期損失8,463百万円）となりました。

なお、当期におけるセグメント毎の売上収益及びセグメント（損失△）は、以下のとおりです。海外事業を非継続事業に分類したことにより、セグメントはHOME'S関連事業のみの単一セグメントに変更しております。

（単位：百万円）

セグメントの名称	売上収益		セグメント利益（損失△）	
	金額	前期比（%）	金額	前期比（%）
(1) HOME'S関連事業	25,538	+6.3	4,322	+61.7
(2) その他	2,596	+13.5	△361	（注2）

（注1）セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

（注2）前期のセグメント損失は421百万円であります。

①HOME'S関連事業

当セグメントは、不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」、不動産投資と収益物件の情報サイト「健美家」及び関連事業で構成されています。

LIFULL HOME'Sでは、これまで継続してきたクライアント・ユーザーへの価値提供の向上と競争力強化に向けて、より一人ひとりにぴったりの住まい探しを提案し、成約確度の高い送客を行えるよう、AI技術を活用した新機能の開発や、ユーザー体験の向上を目的としたUX・UIの改修、クライアントネットワークの拡大・強化に取り組んでいます。国内の移動者数がほぼ横ばいで推移する中、各種施策の効果によりトラフィック・問合せ数等のすべての指標が順調に進捗し、当事業の売上収益は25,538百万円（前期比+6.3%）となりました。主に広告宣伝費の抑制と、AI・生成AIの活用等による業務効率化により、セグメント利益は4,322百万円（同+61.7%）となりました。

②その他

その他は、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL 介護」、地方創生事業等により構成されています。

当期中に宿泊施設の運営ノウハウ等を獲得するため、楽天ステイ4物件の信託受益権を取得しており、2024年12月からその売上・利益が計上されたことと、株式会社LIFULL seniorの収益性改善、地方創生事業の見直し等により、売上収益は2,596百万円（同+13.5%）、セグメント損失は361百万円（前期はセグメント損失421百万円、59百万円の改善）となりました。

以下の項目等、より詳しい決算内容に関しては、当社投資家情報サイトより、2025年11月12日発表の「2025年9月期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL：<https://LIFULL.com/ir/>

<決算説明資料の主な項目>

- | | |
|--------------|--|
| ・簡易損益計算書 | ・・・ 簡易損益計算書（IFRS） |
| ・セグメント別売上収益 | ・・・ セグメント別売上収益（IFRS） |
| ・業績予想の進捗状況 | ・・・ 簡易損益計算書、サービス別売上収益 |
| ・事業の状況 | ・・・ 主な取組み状況 |
| ・四半期別の業績推移 | ・・・ 連結損益計算書（簡易版）、連結セグメント別損益 |
| ・外部市況データ月別推移 | ・・・ マンション発売戸数、マンション価格、新設住宅着工戸数、日本全国移動者数、日本人口 |

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産の残高は18,522百万円となり、前連結会計年度末(以下、前期末)に比べ3,066百万円減少しております。主な要因は、現金及び現金同等物の減少3,931百万円、売掛金及びその他の短期債権の減少139百万円、その他の短期金融資産の増加30百万円、その他の流動資産の増加81百万円、及び売却目的で保有する資産の増加891百万円であります。

(非流動資産)

非流動資産の残高は22,392百万円となり、前期末に比べ2,790百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産の増加2,233百万円、使用権資産の減少864百万円、のれんの減少9,568百万円、無形資産の減少1,788百万円、持分法で会計処理されている投資の減少7百万円、投資不動産の増加5,504百万円、その他の長期金融資産の増加6,159百万円、繰延税金資産の増加1,116百万円、及びその他の非流動資産の増加6百万円であります。

以上の結果、当期末の資産合計は40,915百万円となり、前期末に比べ275百万円減少しております。

(流動負債)

流動負債の残高は5,732百万円となり、前期末に比べ4,562百万円減少しております。主な要因は、買掛金及びその他の短期債務の減少926百万円、借入金の減少2,728百万円、リース負債の減少100百万円、未払法人所得税の減少261百万円、その他の短期金融負債の増加100百万円、その他の流動負債の減少666百万円、及び売却目的で保有する資産に直接関連する負債の増加20百万円であります。

(非流動負債)

非流動負債の残高は8,958百万円となり、前期末に比べ2,265百万円増加しております。主な要因は、借入金の増加7,199百万円、リース負債の減少782百万円、引当金の増加527百万円、その他の長期金融負債の減少4,168百万円、繰延税金負債の減少485百万円、及びその他の非流動負債の減少25百万円であります。

以上の結果、当期末の負債合計は14,691百万円となり、前期末に比べ2,297百万円減少しております。

(資本)

当期末における資本の残高は26,223百万円となり、前期末に比べ2,021百万円増加しております。主な要因は、親会社の所有者に帰属する当期利益による利益剰余金の増加5,317百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少93百万円、その他の包括利益によるその他の資本の構成要素の減少3,279百万円、株式報酬取引による資本金の増加10百万円、株式報酬取引による資本剰余金の減少37百万円、及び非支配持分の増加104百万円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物(以下、資金)は、3,931百万円減少し、10,702百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は4,808百万円となり、前連結会計年度(以下、前期)の増加した資金1,671百万円と比べ、3,137百万円の増加となりました。主な要因は、前期は条件付対価に係る公正価値変動額が785百万円発生していたこと、当期は支配喪失益が1,224百万円、債権放棄損が349百万円それぞれ発生したこと、税引前当期利益が3,805百万円と前期に比べ1,255百万円増加したこと、非継続事業からの税引前当期利益が457百万円と前期に比べ10,084百万円増加したこと、減価償却費及び償却費が1,393百万円と前期に比べ580百万円減少したこと、減損損失が200百万円と前期に比べ6,880百万円減少したこと、売掛金及びその他の短期債権の増減額が73百万円と前期に比べ305百万円減少したこと、買掛金及びその他の短期債務の増減額が△270百万円と前期に比べ81百万円増加したこと、棚卸資産の増減額が△85百万円と前期に比べ21百万円増加したこと、その他が704百万円と前期に比べ1,052百万円増加したこと、及び法人所得税の支払額が667百万円と前期に比べ153百万円減少したこと等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は11,852百万円となり、前期の減少した資金718百万円と比べ、11,133百万円の減少となりました。主な要因は、前期は子会社株式の売却による収入が939百万円発生していたこと、当期は子会社の支配喪失による減少額が2,722百万円、関連会社株式の売却による収入が33百万円それぞれ発生したこと、資本性金融資産

の取得による支出が53百万円と前期に比べ194百万円減少したこと、有形固定資産及び投資不動産の取得による支出が8,162百万円と前期に比べ7,912百万円増加したこと、敷金及び保証金の差入による支出が569百万円と前期に比べ525百万円増加したこと、貸付による支出が2,919百万円と前期に比べ252百万円増加したこと、及び貸付金の回収による収入が2,737百万円と前期に比べ770百万円増加したこと等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は3,890百万円となり、前期の減少した資金2,977百万円と比べ、6,867百万円の増加となりました。主な要因は、前期は非支配持分からの子会社持分取得による支出が65百万円発生していたこと、当期は短期借入金の返済による支出が3,475百万円と前期に比べ1,445百万円増加したこと、長期借入れによる収入が7,755百万円と前期に比べ7,655百万円増加したこと、配当金の支払額が93百万円と前期に比べ451百万円減少したこと、及びリース負債の返済による支出が647百万円と前期に比べ72百万円減少したこと等であります。

(4) 今後の見通し

次期における連結業績予想は以下のとおりとなっております。

(単位：百万円)

	当期実績 (2025年9月期)	次期業績予想 (2026年9月期)	増減額	増減率 (%)
売上収益	28,127	29,700	+1,573	+5.6
HOME'S関連事業	25,530	26,450	+920	+3.6
その他事業	2,596	3,250	+654	+25.2
営業利益(△損失)	3,815	3,000	△815	△21.4
親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)	5,317	1,900	△3,417	△64.3

(注)セグメント間取引については相殺消去しております。

主な販売管理費予想を含めた業績予想の詳細に関しては当社IRサイトより2025年11月12日発表の「2025年9月期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL：<https://LIFULL.com/ir/>

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2016年3月期第1四半期決算より国際会計基準(IFRS会計基準)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,633	10,702
売掛金及びその他の短期債権	4,299	4,160
その他の短期金融資産	1,836	1,866
その他の流動資産	820	902
小計	21,589	17,631
売却目的で保有する資産	—	891
流動資産合計	21,589	18,522
非流動資産		
有形固定資産	950	3,184
使用権資産	1,654	789
のれん	9,954	385
無形資産	2,456	668
持分法で会計処理されている投資	205	197
投資不動産	—	5,504
その他の長期金融資産	2,220	8,379
繰延税金資産	2,118	3,234
その他の非流動資産	42	48
非流動資産合計	19,602	22,392
資産合計	41,191	40,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	2,973	2,047
借入金	3,572	843
リース負債	725	624
未払法人所得税	488	227
その他の短期金融負債	—	100
その他の流動負債	2,535	1,869
小計	10,295	5,712
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	20
流動負債合計	10,295	5,732
非流動負債		
借入金	253	7,453
リース負債	987	204
引当金	532	1,059
その他の長期金融負債	4,334	166
繰延税金負債	509	23
その他の非流動負債	76	50
非流動負債合計	6,693	8,958
負債合計	16,989	14,691
資本		
資本金	9,716	9,726
資本剰余金	9,938	9,900
利益剰余金	2,639	7,863
自己株式	△2,009	△2,009
その他の資本の構成要素	3,819	540
親会社の所有者に帰属する持分合計	24,105	26,022
非支配持分	97	201
資本合計	24,202	26,223
負債及び資本合計	41,191	40,915

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
継続事業		
売上収益	26,312	28,127
売上原価	1,364	1,460
売上総利益	24,948	26,667
販売費及び一般管理費	22,681	22,693
その他の収益	1,002	142
その他の費用	242	301
営業利益	3,027	3,815
金融収益	19	84
金融費用	41	60
持分法投資損益(損失は△)	△193	△67
持分法による投資の売却損益(損失は△)	—	33
持分法による投資の減損損失	261	—
税引前当期利益	2,549	3,805
法人所得税費用	1,034	1,322
継続事業からの当期利益	1,515	2,483
非継続事業		
非継続事業からの当期利益(△損失)	△9,978	2,827
当期利益(△損失)	△8,462	5,310
当期利益の帰属		
親会社の所有者	△8,463	5,317
非支配持分	0	△6
当期利益(△損失)	△8,462	5,310
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(△損失)(円)		
継続事業	11.84	19.44
非継続事業	△77.96	22.07
合計	△66.12	41.51
希薄化後1株当たり当期利益(△損失)(円)		
継続事業	11.84	19.43
非継続事業	△77.96	22.06
合計	△66.12	41.49

連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期利益 (△損失)	△8,462	5,310
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの資本性金融資産	△73	△260
項目合計	△73	△260
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
為替換算差額	826	△3,019
項目合計	826	△3,019
その他の包括利益(税引後)	753	△3,279
当期包括利益	△7,709	2,031
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△7,710	2,037
非支配持分	0	△6
当期包括利益	△7,709	2,031

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日残高	9,716	10,035	11,662	△2,009	3,051	32,456	97	32,554
当期利益(△損失)	—	—	△8,463	—	—	△8,463	0	△8,462
その他の包括利益	—	—	—	—	753	753	—	753
当期包括利益	—	—	△8,463	—	753	△7,710	0	△7,709
剰余金の配当	—	—	△545	—	—	△545	△1	△547
株式報酬取引	—	△45	—	—	0	△44	—	△44
利益剰余金への振替	—	—	△13	—	13	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
非支配持分株主との資本取引	—	△51	—	—	—	△51	0	△51
所有者との取引額等合計	—	△96	△559	△0	14	△641	△1	△642
2024年9月30日残高	9,716	9,938	2,639	△2,009	3,819	24,105	97	24,202

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2024年10月1日残高	9,716	9,938	2,639	△2,009	3,819	24,105	97	24,202
当期利益(△損失)	—	—	5,317	—	—	5,317	△6	5,310
その他の包括利益	—	—	—	—	△3,279	△3,279	—	△3,279
当期包括利益	—	—	5,317	—	△3,279	2,037	△6	2,031
剰余金の配当	—	—	△93	—	—	△93	—	△93
株式報酬取引	10	△37	—	—	0	△26	—	△26
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
非支配持分株主との資本取引	—	—	—	—	—	—	111	111
所有者との取引額等合計	10	△37	△93	△0	0	△120	111	△9
2025年9月30日残高	9,726	9,900	7,863	△2,009	540	26,022	201	26,223

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	2,549	3,805
非継続事業からの税引前当期利益(△損失)	△9,626	457
減価償却費及び償却費	1,974	1,393
減損損失	7,081	200
金融収益	△143	△121
金融費用	321	157
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	378	73
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△351	△270
棚卸資産の増減額(△は増加)	△106	△85
支配喪失損益(△は益)	—	△1,224
債権放棄損	—	349
条件付対価に係る公正価値変動額	785	—
その他	△348	704
小計	2,514	5,440
利息及び配当金の受取額	42	97
利息の支払額	△63	△61
法人所得税の支払額	△821	△667
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,671	4,808
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融資産の取得による支出	△248	△53
資本性金融資産の売却による収入	23	20
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△250	△8,162
有形固定資産の売却による収入	8	—
無形資産の取得による支出	△148	△158
子会社の支配喪失による減少額	—	△2,722
子会社株式の売却による収入	939	—
敷金及び保証金の差入による支出	△43	△569
敷金及び保証金の返還による収入	54	2
関連会社株式の取得による支出	△124	△60
関連会社株式の売却による収入	—	33
貸付による支出	△2,666	△2,919
貸付金の回収による収入	1,966	2,737
その他	△230	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△718	△11,852

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	400	430
短期借入金の返済による支出	△2,029	△3,475
長期借入れによる収入	100	7,755
長期借入金の返済による支出	△217	△230
配当金の支払額	△545	△93
リース負債の返済による支出	△719	△647
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△65	—
非支配持分からの払込による収入	100	150
その他	△1	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,977	3,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	147	112
現金及び現金同等物の減少額	△1,876	△3,040
現金及び現金同等物の期首残高	16,510	14,633
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額	—	△890
現金及び現金同等物の期末残高	14,633	10,702

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報を入手したことに伴い、見積りの変更を行いました。

当該見積りの変更による資産除去債務の総額は、工事費や物価上昇等の影響により547百万円増加し、変更前の残高に加算しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び子会社は、主に提供するサービス内容や業績管理の構成単位を基礎として、事業セグメントを「HOME'S関連事業」、「海外事業」の2報告セグメントに区分しておりましたが、「海外事業」を非継続事業に分類した結果、報告セグメントは「HOME'S関連事業」1つとなっております。これに伴い、前連結会計年度のセグメント情報については、非継続事業を除いた継続事業のみの金額に組み替えて表示しております。

各報告セグメントに属するサービスの種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	サービスの種類
HOME'S関連事業	主に不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」や不動産投資と収益物件の情報サイト「健美家」、及び関連事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、当社グループの会計方針と同じであります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢を勘案し、交渉の上決定しております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりであります。

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント HOME'S関連事業	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	24,024	2,288	26,312	—	26,312
セグメント間の売上収益	9	—	9	△9	—
計	24,034	2,288	26,322	△9	26,312
セグメント利益(△損失)(注1)	2,673	△421	2,251	15	2,266
その他の収益及び費用(純額)					760
営業利益					3,027
金融収益及び費用(純額)					△22
持分法投資損益(△損失)					△193
持分法による投資の減損損失					261
税引前当期利益					2,549
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,060	47	1,107	—	1,107

(注) 1. セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL介護」、レンタル収納スペース情報検索サイト「LIFULLトランクルーム」及びその他の新規事業等が含まれております。

3. セグメント利益(△損失)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント HOME'S関連事業	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	25,530	2,596	28,127	—	28,127
セグメント間の売上収益	7	—	7	△7	—
計	25,538	2,596	28,135	△7	28,127
セグメント利益(△損失)(注1)	4,322	△361	3,960	13	3,974
その他の収益及び費用(純額)					△158
営業利益					3,815
金融収益及び費用(純額)					24
持分法投資損益(△損失)					△67
持分法による投資の売却損益					33
持分法による投資の減損損失					—
税引前当期利益					3,805
その他の項目					
減価償却費及び償却費	1,026	139	1,165	—	1,165

(注) 1. セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL介護」及びその他の新規事業等が含まれております。

3. セグメント利益(△損失)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

(1株当たり情報)

親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)(百万円)	△8,463	5,317
継続事業	1,515	2,489
非継続事業	△9,978	2,827
基本的期中平均普通株式数(株)	127,994,686	128,080,610
希薄化性潜在的普通株式の影響	—	85,370
希薄化後の期中平均普通株式数	127,994,686	128,165,980
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益(△損失)(円)		
基本的1株当たり当期利益(△損失)	△66.12	41.51
継続事業	11.84	19.44
非継続事業	△77.96	22.07
希薄化後1株当たり当期利益(△損失)	△66.12	41.49
継続事業	11.84	19.43
非継続事業	△77.96	22.06

(注) 前連結会計年度において、希薄化性潜在的株式が502,885株ありますが、逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり当期損失の計算から除外されています。

(重要な後発事象)

当社は、2025年11月12日の取締役会において、当社の取締役及び従業員に対してストック・オプションとして発行する新株予約権の募集事項を決定し、当該新株予約権を引き受ける者の募集をすること等につき決議いたしました。

詳細につきましては、2025年11月12日公表の「募集新株予約権（有償ストック・オプション）の発行に関するお知らせ」をご覧ください。